

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

アーティストへの支援をより充実させるため、海外活動支援の充実や支援期間の延長、海外発信支援の強化などの見直しを行っています。（変更点は下線部）

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を通じ、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

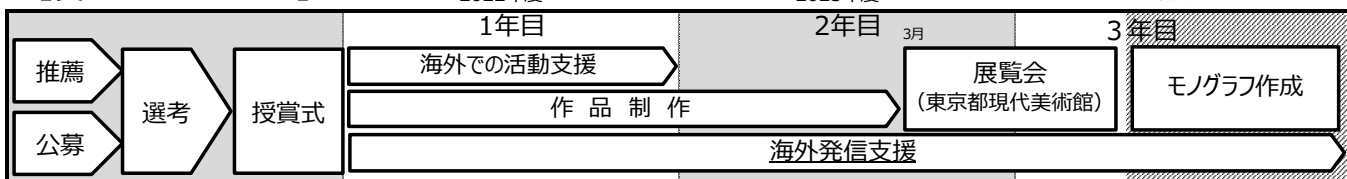
- ・スタジオ訪問や面接により、**作品のみではなく**、制作のプロセスを含めたアーティストの**ポテンシャルを総合的に審査**
- ・東京都現代美術館での**展覧会実施**、**海外発信支援**等、受賞から**3年間**をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限200万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展覧会実施後に制作）・**海外発信支援**

【賞のスケジュール】



※今回の公募・選考から**隔年**実施となります。

支援期間延長

Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 選考委員（予定）

（順不同／敬称略）

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ	クンストインスティテュート・メリー ディレクター
高橋 瑞木	CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京中間美術館 ディレクター
野村 しのぶ	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター
鷺田 めるろ	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年6月時点のものです。